

第 94 回神奈川県立座間谷戸山公園 現場研修会報告

—テーマ :樹林環境の順応的管理—

2月の谷戸山公園研修は、樹林環境の順応的管理の研修を行いました。
園内のエリア別環境特性の把握は都合によりおこないませんでした。



2月の谷戸山公園。

まだ霜柱や氷がはっていて寒いですが、春の訪れを感じられる季節になってきました。



今回の研修も前回に引き続き皆伐更新地区での萌芽株と実生の位置確認調査です。

まずはコナラ、エノキなどの冬芽のおさらいをしました。



今月の冬芽の紹介。

左から、ゴンズイ、クサギ、サルトリイバラです。

クサギは先端の芽をこするとくさい臭いがするのでこの名がついたそうです。

嗅いでみましたが、薬のような表現しにくい臭いがしました。

サルトリイバラは芽の先端からツルが伸びていき、周りの草樹に巻きついていました。

かなり強力なツルで、手で外そうとしても簡単にはとれません



おさがりが終わったら、前回同様、エリアを区切り主要構成木のコナラなどの位置を調査表に落としていきます。



区切りがよいところで、お昼休憩です。
天候が良いので、たくさんの鳥類が谷戸山公園で見られました。



水鳥の池には、アオサギ、マガモたち。



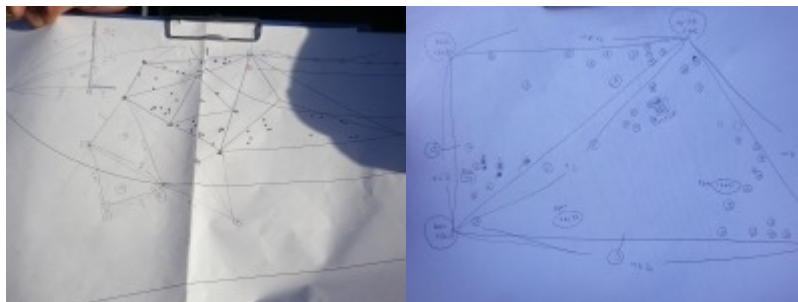
公園内には、ジョウビタキ、キジバト。
その他に、シジュウカラ、ツグミ、メジロなどたくさんの鳥類が観察できました。



昼食後は、環境関連のニュースや気になることについての話し合いです。
中国のPM2.5や、炭素循環型農法など色々な話題が上がっていました。



午後は引き続き、皆伐更新地区で主要構成木の萌芽株と実生の位置確認調査です。
普段意識して見ることのない、冬の状態の植物の形態を知ることができ、とても勉強になると同時に、小さな違いが分かってくると、冬芽を見るのがとても楽しくなってきます。
気になる植物などを発見しては講師に教えてもらいつつ、調査を進めていきます。



今回の調査で、全体の半分くらいまでは確認できたでしょうか。

皆伐更新地区での調査は4月までで終了し、5月頃からは水辺や他の樹林環境での研修を進めていく予定となっております。皆さんの行いたい研修等ありましたら、是非ご提案下さい！